

過渡期を迎えており、今後の動きに注目する必要がある。

次年度以降、ドイツ、アメリカの動向について、さらなる調査を行い、日本型の公的供給システム構築に向けた情報提供に結びつける予定である。

F. 健康危惧情報

特になし。

III. 付録

1. 調査票 A : 義肢・装具・座位保持装置事業全般に関する調査

義肢・装具、座位保持装置製作・修理事業者を対象とした
補装具供給にかかわる実態調査

■ 調査票A：義肢・装具、座位保持装置事業者全般に関する調査票 編

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
井上剛伸、山崎伸也、我妻寛之

● 本調査の趣旨

義肢・装具・座位保持装置はその利用者にとつて欠かすことのできない用具であり、それらの安定的な供給は利用者の自立や社会参加を支える上できわめて重要です。

私どもの研究では、義肢・装具、座位保持装置を必要とする人が、今後も安定的かつ持続的に利用できるようにするため、当該補装具の製作・修理について、最近の動向を反映し、適切な価格設定の方法について提案することを目的としております。

本調査票による調査は、義肢・装具、座位保持装置の製作・修理の費用・売上などに関する動向を調査するものです。調査は、事前の予備調査の対象とさせていただいた事業者を除く全事業者（約600事業者）に対し実施させていただいているものです。集めさせていただいたデータをもとに、補装具製作・修理にどれだけの費用を要するか、安定的な補装具供給を続けるうえでどの程度の利益を見込む必要があるかなど分析を加えたいうえで、最終的には義肢・装具・座位保持装置の価格設定の方法についての提案をまとめることを予定しております。この研究の結果は、報告書・学会等で報告させていただきますほか、厚生労働省補装具評価検討会に対し報告することを考えております。

なお、本調査へのご回答は任意であり回答しないことにより不利益が生じることはございませんが、研究趣旨ご理解の上、是非ともご協力をお願いいたします。

※本調査は、国立身体障害者リハビリテーションセンター「研究所在成20年度厚生労働科学研究費補助金（事業名「経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究」）を受けて進めております。

● データの取り扱いについて

本調査の結果は、匿名化をした形で入力処理いたしますので、研究成果発表の段階で個別事業者の回答内容が第三者に知られることはありません。また、ご回答いただいた元データは、本研究のみで使用いたします。第三者に提供されることもありません。本研究期間終了後（平成21年度末研究費補助期間終了）、ご回答いただいた調査票は廃棄いたします。

● 記入していただくにあたって

次ページ（エクセルファイル上）では、次のワークシート）以降の設問におきまして、貴本社の「置取（口）」についてご記入をお願いいたします。なお、数値をご記入いただく欄については、記入内容に基づいて計算処理を行いますので、数値以外の文字を記入なさらないで下さい。ご記入上の註記等ございましたら、備考欄にご記入下さい。

● 貴事業所について

貴事業所の所在地について（所在都道府県の目）

※ 貴事業所の所在都道府県をご記入下さい

→

記入例)

会計期間について

本調査票では、いくつかの設問において会計期間（事業年度）ごとの売上上げをお訊きしているところがあり、それらの設問の記入欄には、「1期前」、「2期前」といった記述がございます。これは、平成20年6月1日時点で決算の終了している直近の会計期間を1期前、その前の期を2期前として、ご記入下さい。
※ 自立支援法施行の影響を考慮する観点から、いくつかの設問では、過去3会計期間分の記入欄を設けています。

なお記入上の難しい箇所、会計期間等ございましたら、記入可能な欄のみご記入下さい。

例)

3月末日決算の場合

- 1期前：平成19年4月1日～20年3月31日まで
- 2期前：平成18年4月1日～19年3月31日まで
- 3期前：平成17年4月1日～18年3月31日まで

9月末日決算の場合

- 1期前：平成18年10月1日～19年9月30日まで
- 2期前：平成17年10月1日～18年9月30日まで
- 3期前：平成16年10月1日～17年9月30日まで

12月末日決算の場合

- 1期前：平成19年1月1日～19年12月31日まで
- 2期前：平成18年1月1日～18年12月31日まで
- 3期前：平成17年1月1日～17年12月31日まで

※ 貴事業所の決算日をご記入下さい。

→ 月 日

記入例) 月 日

次ページ以降、回答をご記入いただくにあたって

- ・青い太枠の中をご記入下さい。
- ・記入の困難な箇所などありましたら、空欄にしておいて下さい。

なお、金額記入欄等で他の金額等と切り分けが困難な場合、
- 調査票に、「切り分けが困難な場合・・・」などの該当する説明書きがあれば、それに沿ってご記入下さい。
- とくにそのような説明書きがない場合は、切り分けが困難な金額等と併せた額をご記入いただき、その備考欄に併せてご記入下さい。
(なお、そのうち該当する金額項目の占めるおおよその割合が分かるときは、それもご記入下さい。)

・その他、記入上の但し書き、補足事項等ございましたら、各ページの備考欄にご記入下さい。

設問1 織技・装具・座位保持装置など売り上げ等に関する設問

1-1 事業所の収益について

過去3年間の会計期間における、貴事業所の収益(売り上げ)について、ご記入ください。

売上げ金額表(3枚中の1枚目)	3期前		2期前		1期前		記入例	
	金額	件数など	金額	件数など	金額	件数など	金額	件数など
織技 織技製作 ◆ 織技修理 ◆ 装具 装具製作 ◆ 装具修理 ◆ 装具既製品取り付け ◆ 座位保持装置 ※座位保持装置の取り扱いのある事業者様は、下記の、ケースA、ケースBいずれか該当するほうにご記入下さい。 ケースA 座位保持装置と車いすの切り分けができる場合 座位保持装置製作 ◆ 座位保持装置修理 ◆ ケースB 座位保持装置と車いすの切り分けができない場合 座位保持装置・車いす製作 ◆ うち、座位保持装置の数量の比率 取扱座位保持装置(製作)の平均価格 座位保持装置・車いす修理 ◆ うち、座位保持装置の数量の比率 取扱座位保持装置(修理)の平均価格							154,208,125円	62件
							3,120,544円	21件
※更生用・治療用・他にも含まれます							1,222,500円	51件
							250,000円/件	
							1,725,410円	10件
							180,000円/件	3.5割
小計 織技・装具・座位保持装置公費分							170,276,579円	
◎ ケースBの場合、車いすを含む(ページ内の◆の項目の金額の合計)							→再掲 数値をp.5で書き写して下さい	

座位保持装置の取扱がある場合、ケースA・Bのいずれか一方をご記入下さい。

※エクセルファイルの様式で、表中灰色に塗られている箇所は、記入結果に基づいて自動的に計算がされるセルです。

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい) ※記入欄の様式に書くことのできない事項なども各ページの備考欄にお書き下さい。

1-1 事業所の収益について(つづき)

過去3年間の会計期間における、貴事業所の収益(売り上げ)について、ご記入ください。

売上げ金額表(3枚中の2枚目)	3期前		2期前		1期前		記入例	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合
織技・装具 織技・装具製作自費分 ◆ 織技・装具製作装具修理・調整等自費分 ◆ 座位保持装置 ※座位保持装置の取り扱いのある事業者様は、下記の、ケースA、ケースBいずれか該当するほうにご記入下さい。 ケースA 座位保持装置と車いすの切り分けができる場合 座位保持装置製作自費分 ◆ 座位保持装置修理・調整等自費分 ◆ ケースB 座位保持装置と車いすの切り分けができない場合 座位保持装置・車いす製作自費分 ◆ うち座位保持装置の数量金額の比率 座位保持装置・車いす修理・調整等自費分 ◆ うち座位保持装置の修理・調整金額の比率							552,344円	
							439,870円	
小計 織技・装具・座位保持装置自費分 ○							4,598,254円	
ケースBの場合、車いすを含む(ページ内の◆の項目の金額の合計)							→再掲 数値をp.5で書き写して下さい	

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

1-1 事業所の収益について(つづき)

過去3年間の会計期間における、貴事業所の収益(売り上げ)について、ご記入ください。

前ページまで(p.3,4)の小計金額です。

売上げ金額表(3枚中の3枚目)		3期前	2期前	1期前	記入額
		金額	金額	金額	金額
義肢・装具・座位保持装置	前ページまでの小計(p.3,p.4から下記項目を書き写して下さい) (再掲)公費使用分(p.3の③の項目)◆ (再掲)自費分(p.4の④の項目)◆	円	円	円	170,276,579円 4,598,254円
その他の営業収益	補装具完成用部品・材料の販売、補装具関連部品の受注生産・販売 ◆	円	円	円	円
	その他の補装具事業 ◆ ※車いすについては、座位保持装置の取り扱いがない場合並びにp.3, p.4で「ケースA」に該当した場合は、こちらの欄に含めて記入して下さい。「ケースB」に該当した場合は、すでに該当売上金額を記入済みですので、ここでは車いすの売上金額を加算しないで下さい。	円	円	円	円
	福祉用具の販売・レンタル ◆ その他の事業 ◆	円	円	円	34,585,442円 円
営業外収益(投資、財務活動から得られる収益、受取利息、有価証券売却益、受取配当金など) ◆		円	円	円	円
経常収益 (このページの④の項目の合計をご記入下さい)		円	円	円	209,440,275円

取扱のある事業の売上げについて、ご記入下さい(取扱がないものは空欄でお願いします)。

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

5

1-2 更生用義肢・装具の占める比率

(義肢または装具の扱いのある事業者様のみご記入下さい。)1期前の会計期間に製作・既製品取り付けされた義肢・装具の製作売上げ金額ならびに製作件数について、更生用・治療用合計のなかで更生用の占める大きき比率についてご記入下さい。

		更生用	
		義肢・装具について更生用と治療用を併せた全体を10割としたとき、更生用の占める割合をご記入下さい。	
義肢(製作)	売上金額	割	割
装具(製作・既製品取り付け)	売上金額	割	割
	件数	割	割

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

6
62

設問2 職技・器具・座位保持装置製作事業者の経常費用に関する設問

2-1-i 人件費についてご記入下さい。

		3期前	2期前	1期前	記入例
		金額	金額	金額	金額
職技・器具・座位保持装置の製造・営業にかかる人件費	[製造] 職技・器具・座位保持装置の製造にかかる人件費(注1・注2) 通常労賃支給額(残業を含む)◆ 賞与支給◆ 退職金その他積み立て◆ 法定福利費◆	円	円	円	74,235,022円
		円	円	円	4,523,661円
		円	円	円	1,123,536円
		円	円	円	11,346,345円
	[営業] 職技・器具・座位保持装置の営業にかかる人件費(注1・注2) 通常労賃支給額(残業を含む)◆ 賞与支給◆ 退職金その他積み立て◆ 法定福利費◆	円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	
	その他 [管理部門] 役員ならびに経理・人事等事務にかかる人件費 通常労賃支給額(残業を含む)◆ 賞与支給◆ 退職金その他積み立て◆ 法定福利費◆	円	円	円	9,238,450円
		円	円	円	4,302,878円
		円	円	円	138,547円
		円	円	円	1,459,399円
[他の事業] その他職技・器具・座位保持装置以外の事業にかかる人件費 通常労賃支給額(残業を含む)◆ 賞与支給◆ 退職金その他積み立て◆ 法定福利費◆	円	円	円	4,432,911円	
	円	円	円	254,329円	
	円	円	円	64,367円	
	円	円	円	520,398円	
[その他] 従業員全体にかかる福利厚生費等(法定福利費を含まない)◆	円	円	円	10,120,031円	
小計 人件費② (このページの縦の合計(◆)の項目合計) をご記入下さい。	円	円	円	121,759,868円	

注1 座位保持装置事業と車いす事業との間で人件費等の切り分けが困難な場合は、車いす事業を含めた金額をご記入下さい。

注2 製造と営業とでスタッフを分けていらっしゃる事業所は、製造と営業を合わせた数字を、製造の欄にご記入下さい。

※法定福利費：社会保険料の雇用者負担分をさします(健康保険料、労災保険料、雇用保険料など)。

備考(注記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

7

2-1-i 人件費についてご記入下さい。(つづき)

※前ページ(エクセルでは、前ワークシート)の内容について、もし切り分けが可能でしたら、**製造に従事されている方のうち労働時間が20時間未満の方**についてご記入下さい。

		3期前	2期前	1期前	記入例
		金額	金額	金額	金額
職技・器具・座位保持装置	[製造] 職技・器具・座位保持装置の製造にかかる人件費(注1・注2) 通常労賃支給額(残業を含む)◆ 賞与支給◆ 退職金その他積み立て◆ 法定福利費◆	円	円	円	853,458円
		円	円	円	7,000円
		円	円	円	
		円	円	円	60,230円

注1 座位保持装置事業と車いす事業との間で人件費等の切り分けが困難な場合は、車いす事業を含めた金額をご記入下さい。

注2 製造と営業とでスタッフを分けていらっしゃる事業所は、製造と営業を合わせた数字を、製造の欄にご記入下さい。

該当があり、かつデータの切り分けが可能でしたらご記入下さい。

2-1-i 前ページ(p.7)設問 2-1-i の「職技・器具・座位保持装置の製造・営業にかかる人件費」の項において、座位保持装置と車いすの間で人件費の切り分けが困難である(前ページ注1参照)事業所のみご回答下さい。

		3期前	2期前	1期前	記入例
		割合	割合	割合	割合
座位保持装置・車いす	前のページ(p.7)「職技・器具・座位保持装置の製造・営業にかかる人件費」の項目においてご記入いただいた金額のうち、「座位保持装置+車いす」にかかる比率はおおむね何割と考えられますか。詳細が分からない場合は、大まかな比率をご記入下さい。	割	割	割	8割
	[製造]における座位保持装置+車いすの人件費の比率(注3)	割	割	割	6.5割
	[営業]における座位保持装置+車いすの比率(注3)	割	割	割	

注3 製造と営業とでスタッフを分けていらっしゃる事業所は、製造と営業を合わせた数字を、製造の欄にご記入下さい。

備考(注記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

8

63

2-1-i 従業員等の人数・就業時間について
 ※前ページ2-1-i および 2-1-i' で「座位保持装置と車いす」との間で人件費の切り分けが困難とした事業所は、この段階では「座位保持装置」の項に車いす事業における数値を含めて下さい。

従業員等の人数について(※1期前の末における状況をご回答下さい。)

	週20時間以上勤務の方	週20時間未満勤務の方
職・器具・座位保持装置事業		
製造・営業双方に携わる方	名	名
基本的に製造に携わる方	名	名
基本的に営業に携わる方	名	名
その他		
管理部門(役員、経理・人事等事務)およびその他の事業に携わる方	名	名

就業時間について(※1期前の会計期間における状況をご回答下さい。)

下記の各区分ごとに従業員の方の、平均的な年間作業時間をお書き下さい。
 (稼働時間・就業中の待機時間・残業時間を含みます。なお、休日等で作業していない日数等をご考慮下さい。)

	週20時間以上勤務の方	週20時間未満勤務の方
職・器具・座位保持装置事業		
製造・営業双方に携わる方	時間	時間
うち営業にかかる時間の割合	割	割
基本的に製造に携わる方	時間	時間
基本的に営業に携わる方	時間	時間
その他		
管理部門(役員、経理・人事等事務)およびその他の事業に携わる方	時間	時間

営業における業務以外にかかる時間について(※1期前の会計期間における状況をご回答下さい。)

営業における実業務以外にかかる時間(稼働に要した時間、待機時間)は営業に従事されていた時間全体(残業を含む)に対して何割くらいでしょうか。	割
---	---

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

9

2-1-ii その他の費用についてご記入下さい。

	3期前		2期前		1期前	
	金額	車いすの割合	金額	車いすの割合	金額	車いすの割合
人件費	(前掲)小計 人件費 ◆ (7ページ④の項目の数値を書き写して下さい)	円	円		円	
職・器具・座位保持装置事業にかかる人件費以外の費用	※車いす事業との切り分けが困難な場合は、「金額」欄には車いす事業にかかる費用を併せた金額をご記入いただき、「車いすの割合」欄に金額のうち車いすの占めるおおよその割合をご記入下さい。(車いすとの切り分けが可能な場合は、「車いすの割合」欄は空欄にしておいて下さい。) 材料・部品等購入費 ◆ 内訳(切り分けできる項目のみ、ご記入下さい) - 完成用部品購入費 - その他の部品(オーダーメイドを含む)、 製作・修理にかかる定型、作業の外注など - その他材料・素材 営業などに要する交通費 ◆ (運賃、ガソリン代、有料道路利用料など) その他の営業費用1(註1) ◆ (その他の営業費用のうち、職・器具・座位保持装置事業に関わると切り分けが可能な経費。当該事業に関わる機械・車両等のリース代、光熱費、材料以外の消耗品代、租税公課(一般管理費算入分)(註2)、減価償却費など。) 円 割	割	円 割	割	円 割	割
職・器具・座位保持装置事業以外にかかる人件費以外の費用	その他の営業費用2 ◆ (その他の営業費用のうち、職・器具・座位保持装置事業以外に関する経費。当該事業に関わる材料費、交通費、機械・車両等のリース代、光熱費、材料以外の消耗品代、租税公課(一般管理費算入分)(註2)、減価償却費など。)	円	円		円	
営業外費用	本業経費以外の、財務的な費用(支払利息、有価証券売却損等) ◆	円	円		円	
経常費用合計	(ページ内の◆の項目の合計になります)	円	円		円	

註1 職・器具・座位保持装置以外の事業と切り分けの難しい費用については、下の「その他の営業費用2」の欄に合算して、ご記入下さい。
 註2 ここで租税公課は、所得税、法人税、事業税(事業税外形標準課税部分を除く)以外の一般管理費に算入されるものです。
 具体的には、固定資産税、印紙税、自動車税、事業税外形標準課税部分などの税のほか、障害者雇用納付金などの公的な課金が入ります。

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

2-2 営業に関わる交通費・出張回数について

2-2-i 補装具製作・修理1件に要する出張回数について(1期前の会計期間について)

農具・器具・座位保持装置の製作・修理を1件完了するために必要な、平均営業出張回数をご記入下さい。

製作	納品までに 納品後9ヶ月間の 調整等に	農具		器具		座位保持装置	
		回	回	回	回	回	回
修理	納品までに 納品後3ヶ月間の 調整等に	回	回	回	回	回	回
既製品取付	納品までに	回	回	回	回	回	回

2-2-ii 遠隔地出張について

2-2-ii a 過去3年間の会計期間における、最も交通費(往復あわせて)が多く掛かった営業等出張事例3例について、その概要をご記入下さい。

移動区間 記入例	交通所要額(概算) 28,000円	所要時間		概要
		所要時間	12時間	
所沢-羽田空港-八丈島(往復)	円	うち正味移動時間	6時間	日帰り
		用務時間	1時間	
		所要時間	時間	
円	うち正味移動時間	時間		
	用務時間	時間		
	所要時間	時間		
円	うち正味移動時間	時間		
	用務時間	時間		
	所要時間	時間		

※2-2-ii aの「所要時間」については、往路・復路の移動、用務、待機(宿泊等交通施設外での時間を含む)等に要した一連の所要時間を記載して下さい。「正味移動時間」については、交通機関・車両・徒歩などでの移動に要した正味の時間を記載して下さい。ただし、駅・空港・港等交通施設内での乗り換え待ち時間は含むものとします(たとえば、船便待ちのための前泊泊等における時間は、「所要時間」には含まれますが「正味移動時間」には含まれません)。「用務時間」は、用務に要した時間を記載して下さい。

備考(社名、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

--

2-2-ii b 1期前の会計期間に関して、下記の遠隔地などへの出張件数をご記入下さい。

1期前	
1. 貴事業所よりの用務地までの片道正味移動距離で下記に該当する件数をご記入下さい(なお、用務などの時間は含まれません)。※一回の出張で複数の出先を訪問している場合には、単一の訪問先のみを訪問した場合の正味移動距離を考慮していただき、該当する場合はすべてを加算して下さい。	
片道2時間以上4時間未満	件
片道4時間以上6時間未満	件
片道6時間以上	件
2. 貴事業所よりの用務地までの片道正味移動距離で下記に該当する件数をご記入下さい。(1と重複する場合も、そのままご回答下さい)※一回の出張で複数の出先を訪問している場合には、個々の訪問先のみを訪問した場合の正味移動距離を考慮していただき、該当する場合はすべてを加算して下さい。	
片道50km以上100km未満	件
片道100km以上200km未満	件
片道200km以上	件
3. 下記にあてはまる出張の件数をご記入下さい(1、2と重複する場合も、そのままご回答下さい)	
船便による移動	件
航空機による移動	件
うち、船便併用	件

説明3 ご意見等について

3-1 農具・器具・座位保持装置の修理項目・付属品(現行制度では、座位保持装置のみ)等で、補装具費の制度に載せなかった項目を考慮すべきとお考えのものがありましたら、該当する欄にご記入下さい。

修理項目	付属品	その他
農具		
器具		
座位保持装置		

3-2 その他のご意見について

1 説明3-1にご記入いただいた以外で、農具・器具・座位保持装置の価格に反映すべき費用項目について(たとえば、アクセサリー、技術料等)ご意見がありましたら併せてご記入下さい。

農具・器具・座位保持装置に関する制度の運用について
農具・器具・座位保持装置の制度のあり方について
その他

お忙しいなか長時間にわたるご回答に協力いただきまして、どうもありがとうございました。

2. 義肢の個別種別に関する調査票例（殻構造肩義手についての調査票）

調査票B 1：補装具製作に要する個別費用（1）－殻構造義手

職技・器具・座位保持装置製作・修繕業者を対象とした
補装具技術にかかわる実態調査

■ 調査票日 1. 補装具製作に要する個別費用(円) 2. 設備運送手 3. 職技・器具・座位保持装置製作費用等に關する設備

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
井上剛伸、山崎伸也、坂澤賢之

本調査票は、下記の設備運送票のうち、○印が付いている区分の製作を対象としたものです。

○	1. A-1 履帯手	6. A-5 手輪車
	2. A-2 上肢手	6. A-6 手輪車
	3. A-3 肘手	7. A-7 手出装置
	4. A-4 前肢手	

●本調査の趣旨

職技・器具・座位保持装置はその利用者にとつて欠かすことのできない用具であり、それらの安定的な供給は利用者の自立や社会参加を支える上できわめて重要である。

私どもの研究では、職技・器具・座位保持装置を必要とする人が、今後安定的かつ持続的に利用できるようにするため、当該補装具の製作・修理について、最近の動向を反映し、適切な価格設定の方法について提案することを目的としております。

本調査票による調査は、職技・器具・座位保持装置の製作・修理の費用・売上などに關する動向を調査するものです。調査は事前の予備調査の対象とさせていただいた事業者を除く全事業者(約600事業者)に対し実施させていたいただいているものです。集めさせていただいたデータをもとに、補装具製作・修理にどれだけの費用を要するか、安定的な補装具供給を続けるうえでどの程度の利益を思込む必要があるかなど分析を加えたいうえで、最終的には職技・器具・座位保持装置の価格設定の方法についての提案をまとめることを予定しております。この研究の結果は、報告書・学査等で報告させていただくほか、厚生労働省補装具評価検討会に対し報告することを考えております。

なお、本調査へのご回答は任意であり回答しないことにより不利益が生じることはございません。また、本調査は、研究費ご理解の上、是非ともご協力をお願いいたします。

※本調査は、国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所が平成20年度厚生労働科学研究費補助金(事業名「経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究」)を受けて進めております。

●データの取り扱いについて

本調査の結果は、匿名化をした形で入力処理いたしますので、研究成果発表の段階で個別事業者の回答内容が第三者に知られることはありません。また、ご回答いただいた元データは、本研究のみに使用いたします。第三者に提供されることもありません。本研究期間終了後(平成21年度末)研究補助期間終了、ご回答いただいた調査票は焼棄いたします。

●記入していただくにあたって

次ページ(エクセルファイル)上では、次のワークシート)以降の設問におきまして、**直**い**本**格の**箇**頭(□)についてご記入をお願いします。なお、数値をご記入いただく欄については、記入内容に基づいて計算処理を行いますので、数値以外の文字を記入しなさいで下さい。ご記入上の記載をごさいますら、備考欄にご記入下さい。

■設問 個別の職技・器具・座位保持装置製作費用等に關する設問

本調査票は、添紙に示しました区分の補装具について、平成19年4月1日～平成20年9月の期間に貴事業所において製作された事例のなから、4つの事例を取り上げ記入していただく様式になっております。上記の期間における、表紙に示しました区分の補装具の製作事例についておたずねいたします。

該当する補装具の製作事例の有無
該当するものを1つ選んで下さい
本調査票表紙に示した職技の区分について
ア 該当する製作事例あり
イ 該当する製作事例なし
右の欄にご記入下さい

→ 上記でイ以上ご回答の場合
本調査票の次ページ以降についてご回答いただく必要はございません。他の調査票と合わせましてご返送下さい。ご協力、どうもありがとうございます。

→ 上記でア以上ご回答の場合
当該補装具の区分のなから、下記の選択基準にもとづき4つの事例を挙げていただき、それぞれについて次ページ以降の設問にご回答下さい。

・4つの事例の選び方ですが、下記のような基準でお選び下さい。

事例	事例の選択基準
事例1	製作業開始以降、納品後9ヶ月間の無償調整期間終了までの間の利用者対象年齢から見た選択基準 ※製作業時間については、該当作業を行う場合の作業場所における平均的勤務時間の方が作業した場合は時間を短縮して下さい。
事例2	同区分の補装具製作の中で、所要作業時間が標準的であったものを選んできた下さい。
事例3	同区分の補装具製作の中で、所要作業時間が長い方から順に並べてみて、上から200位の順位のものを選んで下さい。(大体の目安です。厳密に選択していただく必要はありません)
事例4	同区分の補装具製作の中で、所要作業時間が長い方から順に並べてみて、上から200位の順位のものを選んで下さい。(大体の目安です。厳密に選択していただく必要はありません)

i 基本価格項目、ii 製作要素等について
 処方箋に基づいて、下記の基本価格項目・製作要素等にかかる事項について、見積り積算上該当する数量をご記入下さい。

	(参考) 単価	個別事例での該当物の数量					(参考) 単価	個別事例での該当物の数量							
		事例1	事例2	事例3	事例4			事例1	事例2	事例3	事例4				
	※平成19年度の単価を示しています。	18歳以上の方向け：所要作業時間平均的	18歳以上の方向け：所要作業時間長め	18歳未満の方向け：所要作業時間平均的	18歳未満の方向け：利用者年齢	20	41,000								
						ii 製作要素価格									
						a ソケット									
						1	A-1	アルミニウム・セルロイド	10,000						
						2		皮革	8,150						
						3		熱硬化性樹脂	18,400						
						4		熱可塑性樹脂	4,650						
						5	A-2	アルミニウム・セルロイド	8,850						
						6		皮革	10,800						
						7		熱硬化性樹脂	12,600						
						8		熱可塑性樹脂	6,050						
						9	A-3	アルミニウム・セルロイド	8,850						
						10		皮革	11,700						
						11		熱硬化性樹脂	12,600						
						12		熱可塑性樹脂	4,350						
						13	A-4	アルミニウム・セルロイド	7,800						
						14		皮革	10,700						
						15		熱硬化性樹脂	12,300						
						16		熱可塑性樹脂	4,250						
						17	A-5	アルミニウム・セルロイド	9,350						
						18		皮革	8,050						
						19		熱硬化性樹脂	11,700						
						20		熱可塑性樹脂	6,100						
						21	A-6	アルミニウム・セルロイド	7,650						
						22		皮革	7,850						
						23		熱硬化性樹脂	9,500						
						24		熱可塑性樹脂	5,950						
						25	A-7	皮革	3,550						
						26		熱硬化性樹脂	3,550						
						27		熱可塑性樹脂	3,050						
												備考(註記、補正事項などございましたら、ご記入下さい)			

3

i 基本価格項目、ii 製作要素等について(つづき)
 処方箋に基づいて、下記の基本価格項目・製作要素等にかかる事項について、見積り積算上該当する数量をご記入下さい。

	(参考) 単価	個別事例での該当物の数量					(参考) 単価	個別事例での該当物の数量							
		事例1	事例2	事例3	事例4			事例1	事例2	事例3	事例4				
						ii 製作要素価格(つづき)									
						b ソフトインサート									
						1	A-1	皮革	4,050						
						2		軟性発泡樹脂	4,100						
						3		皮革・軟性発泡樹脂	6,950						
						4	A-2	皮革	3,550						
						5		軟性発泡樹脂	4,000						
						6		皮革・軟性発泡樹脂	6,650						
						7	A-3	皮革	3,550						
						8		軟性発泡樹脂	4,000						
						9		皮革・軟性発泡樹脂	6,650						
						10	A-4	皮革	3,450						
						11		軟性発泡樹脂	3,950						
						12		皮革・軟性発泡樹脂	6,450						
						13	A-5	皮革	3,450						
						14		軟性発泡樹脂	3,950						
						15		皮革・軟性発泡樹脂	6,450						
						c 支持部									
						1		脛部	7,750						
						2		上前部アルミニウム・セルロイド	6,900						
						3		上前部 熱硬化性樹脂	21,500						
						4		前腕部アルミニウム・セルロイド	8,800						
						5		前腕部 熱硬化性樹脂	17,700						
						6		作業用 上前部	6,900						
						7		前腕部	8,800						
						d 義手用ハーネス									
						1		腕部用ベルトハーネス一式	19,300						
						2		肩たすき一式	9,700						
						3		腕部用ベルトハーネス一式	19,100						
						4		肘義手用 肩たすき一式	9,700						
						5		8字ハーネス一式	8,850						
						6		腕部用ベルトハーネス一式	16,300						
						7		8字ハーネス一式	7,100						
						8		9字ハーネス一式	4,550						
						9		たわみ継手(一組)	2,200						
						10		前方支持バンド	2,200						
						11		上腕カフ(三頭筋パッド)	4,650						
												備考(註記、補正事項などございましたら、ご記入下さい)			

4

69

	事例1	事例2	事例3	事例4
(例) 正味作業時間について				
当該補装具の製作において、工程ごとの正味作業時間(待ち時間等は含まない)をご記入ください。(※作業時間については、該当作業を行う場合の貴事業所における平均的熟練度の方が作業した場合の時間をご記入下さい) (基本工作法にかかる作業)				
・iii-1 断端の観察 断端の表面の状況、関節の運動機能(屈伸、内転、外転等)の状況並びに肢位の観察及び特徴の把握	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-2 採寸及び投影図の作成 情報カードの記録、製作に必要な寸法及び角度の測定並びに投影図の作成	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-3 採型 ギプス包帯法による陰性モデルの採型及び順型、陽性モデルの注型及び取り出し並びに陰性モデルの修正	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-4 適合チェック チェックソケット製作、チェックソケットでの適合チェック・修正、継手中心位置のうちチェックソケットの作成について ・作成本数	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・作成時間	(チェックソケットの作成本数をご記入下さい)			
・iii-5 陽性モデルの製作 チェックソケットへのギプスの注型、陽性モデルの修正、表面の仕上げ及び乾燥	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-6 ソケット製作 ストックネットの被覆、強化材の付加、PVAスリーブの被覆、樹脂の注型、取り出し及びソケットトリミング	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
				・iii-7 支持部材の外形の形成及び要素の刻 バラフィン、プラスチックフォームギプス等による支持部材外形の形成及び要素の (正味作業時間(分)等をご記入下さい) ・iii-8 組立て 継手等各部の組み合わせ及び結合並びに ハーネスの取付 (正味作業時間(分)等をご記入下さい) ・iii-9 仮合わせ ソケットトリミングの修正、ハーネスの調整及び機能の点検、継手操作の基本の指導並びに適合の修正 (正味作業時間(分)等をご記入下さい) ・iii-10 外装及び仕上げ(基本工作法相当) 外形の研削、ストックネットの被覆及びラミネーション (正味作業時間(分)等をご記入下さい) ・iii-11 適合検査 適合、アライメントの点検、操作指導 (正味作業時間(分)等をご記入下さい)
				備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

5

	事例1	事例2	事例3	事例4
(例) 正味作業時間について(つづき)				
(基本工作法範囲外にかかる作業) ※下記のなかで該当する作業がございましたら、それに要した正味作業時間等についてご記入下さい。				
・iii-12 外装及び仕上げ(基本工作法相当外装作業等で、基本工作法範囲外のことをされている場合は、該当作業についてご記入下さい。また、該当作業内容に対する、所要費用の負担について、あてはまるものを1つ下記のなかからお選び下さい。 ※該当作業分の所要費用の負担について ア 利用者自己負担 イ 製作事業者負担 ウ 行政負担 エ その他				
・主な作業内容を4つ挙げて下さい。 作業内容1(外装・仕上げ)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容2(外装・仕上げ)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容3(外装・仕上げ)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容4(外装・仕上げ)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
その他、基本工作法外の外装・仕上げ作業	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
・iii-13 調整機構を持つ完成用部品の調整 調整機構を持つ完成用部品の調整に要した時間(手先具の把持力の調整)	(正味作業時間(分)をご記入下さい)			
				・iii-14 納品後9ヶ月間の調整、補修 納品後9ヶ月間の調整、補修に要した時間 (正味作業時間(分)をご記入下さい) ・iii-15 上記以外の作業 その他の作業についてご記入下さい。また、該当作業内容に対する、所要費用の負担について、あてはまるものを1つ下記のなかからお選び下さい。 ※該当作業分の所要費用の負担について ア 利用者自己負担 イ 製作事業者負担 ウ 行政負担 エ その他 ・主な作業内容を4つ挙げて下さい。 作業内容1(その他) (該当作業に対する正味作業時間(分)) (費用負担について(記号記入)) 作業内容2(その他) (該当作業に対する正味作業時間(分)) (費用負担について(記号記入)) 作業内容3(その他) (該当作業に対する正味作業時間(分)) (費用負担について(記号記入)) 作業内容4(その他) (該当作業に対する正味作業時間(分)) (費用負担について(記号記入)) その他、基本工作法外の外装・仕上げ作業 (該当作業に対する正味作業時間(分))
				備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

6

	事例1	事例2	事例3	事例4
(iv) 使用完成用部品について				
当該補装具に使用した完成用部品について、使用部品のメーカー、型番、購入価格についてご記入ください。				
部品1	厨廻手	厨廻手	厨廻手	厨廻手
部品2	厨廻手	厨廻手	厨廻手	厨廻手
部品3	手廻手	手廻手	手廻手	手廻手
部品4	手先具	手先具	手先具	手先具
(以下、部品名称欄には、「ライナー」等名称をご記入下さい)				
部品5				
部品6				
部品7				

	事例1	事例2	事例3	事例4
部品8				
部品9				
部品10				
部品11				
部品12				
部品13				
部品14				
備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)				

7

	事例1	事例2	事例3	事例4
(iv) 使用完成用部品について(つづき)				
当該補装具に使用した完成用部品について、使用部品のメーカー、型番、購入価格についてご記入ください。				
(部品名称欄には、「ライナー」等名称をご記入下さい)				
部品15				
部品16				
部品17				
部品18				
部品19				
部品20				
部品21				

	事例1	事例2	事例3	事例4
部品22				
部品23				
部品24				
部品25				
部品26				
部品27				
部品28				
備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)				

8

71

	事例1	事例2	事例3	事例4
iv) 完成部品以外の部品・材料の費用について 完成部品以外の部品外注費、その他の材料費について、ご記入下さい。				
iv-1 部品外注費 事業所外への定型作業、オーダーメイド部品の外注についてお書き下さい。				
外注1	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)		
	金額	(該当外注に要した費用をお書き下さい)		
外注2	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)		
	金額	(該当外注に要した費用をお書き下さい)		
外注3	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)		
	金額	(該当外注に要した費用をお書き下さい)		
外注4	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)		
	金額	(該当外注に要した費用をお書き下さい)		
外注5	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)		
	金額	(該当外注に要した費用をお書き下さい)		
外注6	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)		
	金額	(該当外注に要した費用をお書き下さい)		
iv-2 使用材料費 その他当該補装具を製作する上で、使用した材料(素材など)の材料費合計金額をご記入下さい。 ※最終的にできあがる補装具には残らない、作業中に失われるロス分を含めて当該補装具の製作に要した材料の金額をご記入下さい。				
	使用材料合計金額			
iv) 当該補装具の提供価格 当該補装具の提供価格をお書き下さい。				
	価格			
備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)				
この調査票の設問はここまでです。 長時間にわたりご回答いただき、どうもありがとうございました。				

3. 装具の個別種別に関する調査票例（股装具についての調査票）

調査票C1：補装具製作に要する個別費用（5）－下肢装具

被験者・被験者・職位保持装置製作・修理事業者を対象とした
補償費供給にかかわる実態調査

■ 調査票C-1：補償費製作に要する個別費用（5） 一 下法被験者

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
井上廣伸、山崎伸也、我妻賢之

本調査票は、下記の下法被験者のうち、○印が付いている区分の製作を対象としたものです。

○ 23. A-1 被験者	27. A-7 足座被験者
24. A-2/3 下法被験者（骨盤付を含む）	28. A-8/B 股関節内装被験者
25. A-4 補償費	29. A-10 両下法被験者
26. A-5/6 短下法被験者（脚上式を含む）	

● 本調査の趣旨

補償・被験者・職位保持装置はその利用者にとって欠かすことのできない用具であり、それらの安定的な供給は利用者の自立や社会参加を支える上できわめて重要である。
私どもの研究では、補償・被験者・職位保持装置を必要とする人が、今後どのように持続的に利用できるようになるため、当該補償装置の製作・修理について、最近の動向を反映し、適切な価格設定の方法について提案することを目的としております。

本調査票による調査は、補償・被験者・職位保持装置の製作・修理の費用・売上などに関する動向を調査するものです。調査は事前の予備調査の対象とさせていたいただいた事業者を除く全事業者（約600事業者）に対し実施させていただいているものです。集めさせていただいたデータをともに、補償装置製作・修理にどれだけの費用を要するか、安定的な補償供給を続けるうえでどの程度の利益を見込む必要があるかなど分析を加えたうえで、最終的には補償・被験者・職位保持装置の価格設定の方法についての提案をまとめることを予定しております。この研究の結果は、報告書・学会等で報告させていただきます。

なお、本調査へのご回答は任意であり回答しないことにより不利益が生じることはございませんが、研究趣旨ご理解の上、是非ともご協力をお願いいたします。

※本調査は、国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所が平成20年度厚生労働科学研究費補助金（事業名「経済学的手法による補償装置の価格構成に関する研究」）を受けて進めております。

● データの取り扱いについて

本調査の結果は、匿名化した形式で入力処理いたしますので、研究成果発表の段階で個別事業者の回答内容が第三者に知られることはありません。また、ご回答いただいた元データは、本研究のみに使用いたします。第三者に提供されることもありません。本研究期間終了後（平成21年度末研究費補助期間終了）、ご回答いただいた調査票は廃棄いたします。

● 記入していただくにあたって

次ページ（エクセルファイル）では、次のワークシート）以降の設問におきまして、**直**に**本**被験者の**置**（**□**）についてご記入をお願いいたします。なお、数値をご記入いただく欄については、記入内容に基づいて計算処理を行いますので、数値以外の文字を記入しなさいで下さい。ご記入上の注記等ございましたら、備考欄にご記入下さい。

■ 設問 個別の補償・被験者・職位保持装置製作費用等に関する設問

本調査票は、表紙に示しました区分の補償装置について、平成18年4月1日～平成20年9月の期間に貴事業所において製作された事例のなかから、4つの事例を取り上げ記入していただく形式となっております。

上記の期間における、表紙に示しました区分の補償装置の製作事例についてお答え下さい。

該当する補償装置の製作事例の番号 該当するものを1つ選んで下さい 本調査票表紙に示した装置の区分について A 該当する製作事例あり I 該当する製作事例なし 右の欄にご記入下さい
--

一 上記で「I」とご回答の場合
本調査票の次ページ以降についてご回答いただく必要はございません。他の調査票と合わせてご返送下さい。ご協力、ご協力ありがとうございます。

一 上記で「A」とご回答の場合
当該補償装置の区分のなかから、下記の選択基準にもとづき4つの事例を挙げていただき、それぞれについて次ページ以降の設問にご回答下さい。
4つの事例の選び方が、下記のような基準でお選び下さい。

事例	事例の選択基準	製作開始以降、納品後9ヶ月間の無償調整期間終了までの間の所要作業時間から見た選択基準
事例1	18歳以上	※作業時間については、該当作業を行う場合の製造所における平均的製造業者の方が作業した場合の時間を基準にお選び下さい。
事例2	18歳未満	※作業時間については、該当作業を行う場合の製造所における平均的製造業者の方が作業した場合の時間を基準にお選び下さい。
事例3	18歳未満	※作業時間については、該当作業を行う場合の製造所における平均的製造業者の方が作業した場合の時間を基準にお選び下さい。
事例4	18歳未満	※作業時間については、該当作業を行う場合の製造所における平均的製造業者の方が作業した場合の時間を基準にお選び下さい。

i 基本価格項目、ii 製作要素等について

処方箋に基づいて、下記の基本価格項目・製作要素等にかかる事項について、見積りも積算上該当する数量をご記入下さい。

	(参考) 単価	個別事例での該当物の数量				(参考) 単価	個別事例での該当物の数量			
		事例1	事例2	事例3	事例4		事例1	事例2	事例3	事例4
※平成19年度の単価を示しています。										
※製作要素価格										
a 離手										
1	股離手	固定	5,500							
2		遊動(鋼線支柱を含む)	8,550							
3	踵離手	固定	5,350							
4	(片側)	遊動(鋼線支柱を含む)	5,850							
5		プラスチック離手	12,300							
6	足離手	固定	4,500							
7	(片側)	遊動(鋼線支柱、板パネ支柱を含む)	5,300							
8		プラスチック離手	9,200							
b 支持部										
1	大腿	半月	4,000							
2	支持部	皮革等:カフバンド	6,900							
3		皮革等:大腿コルセット	13,700							
4		モールド:熱硬化性樹脂	22,300							
5		モールド:熱可塑性樹脂	10,000							
6		座骨支持式加算	18,400							
7	下腿	半月	3,850							
8	支持部	皮革等:カフバンド	5,900							
9		皮革等:大腿コルセット	10,700							
10		モールド:熱硬化性樹脂	20,700							
11		モールド:熱可塑性樹脂	8,400							
12		PTB/PTS/KBM支持式加算	12,700							
13	足部	あぶみ	2,200							
14		足部:皮革等大	12,000							
15		足部:皮革等小	6,200							
16		モールド:熱硬化性樹脂	12,300							
17		モールド:熱可塑性樹脂	7,200							
18		襪厚靴	750							
19		側板補強加算	8,450							
備考(註記、補正事項などございましたら、ご記入下さい)										

3

i 基本価格項目、ii 製作要素等について(つづき)

処方箋に基づいて、下記の基本価格項目・製作要素等にかかる事項について、見積りも積算上該当する数量をご記入下さい。

	(参考) 単価	個別事例での該当物の数量				(参考) 単価	個別事例での該当物の数量			
		事例1	事例2	事例3	事例4		事例1	事例2	事例3	事例4
※製作要素価格(つづき)										
c その他の加算要素										
1	踵サポーター	軟性(支柱付き)	14,000							
2	ター	軟性(支柱なし)	6,450							
3	キャリバー		16,200							
4	ツイスター	軟性	4,850							
5		鋼製ケーブル	2,900							
6	デニスブラウン		2,300							
7	踵当て		3,850							
8	T・Yストラップ		4,400							
9	スタビライザー		15,000							
10	ターンバックル		5,000							
11	ダイヤルロック・ファンロック		7,300							
12	伸展・屈曲補助装置		3,900							
13	補高用足部		42,200							
14	足底裏革(すべり止め用)		1,650							
15	高さ調整		3,200							
16	内張り	大腿部	1,800							
17		下腿部	1,450							
18		足部	1,100							
19	ヒールの補正	トルクヒール	5,100							
20		その他	3,100							
21	足底の補正	内側・外側ソール・ウェッジ	4,050							
22		その他	3,100							
23	骨盤帯		6,150							
24	懸垂帯		13,800							
d 先天性股関節症用の加算要素										
1	リーメンビューゲル		8,800							
2	ホンローゼン型		12,400							
3	パチェラー型		26,100							
4	ローレンツ	モールド	14,200							
5	型	モールドフレーム固定式	21,600							
6		モールドフレーム調節式	23,200							
7	ランゲ型		31,700							
備考(註記、補正事項などございましたら、ご記入下さい)										

4
75

	事例1	事例2	事例3	事例4
正味作業時間について				
当該補装具の製作において、工程ごとの正味作業時間(待ち時間等は含まない)をご記入ください。(※作業時間については、該当作業を行う場合の貴事業所における平均的熟練度の方が作業した場合の時間をご記入下さい)				
(基本工作法にかかる作業)				
・iii-1 患部及び患部の観察 患部の表面の状況、関節の運動機能(屈伸、内転、外転等)の状況並びに肢位の観察及び特徴の把握	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-2 採寸及び投影図の作成 情報カードの記録、製作に必要な寸法及び角度の測定並びに投影図の作成	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-3 採型 ギブス包帯法による陰性モデルの採型	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-4 陰性モデルの製作 陰性モデルへのギブスの注型、陰性モデルの修正、表面の仕上げ及び乾燥	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-5 組立て 陰性モデルにデザインの記入(アライメント) フレーム:曲げ加工、組み立て及び調整 モールド:プラスチック板切断、加熱成形加工、トリミング及び調整筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の仮止め及び各部の結合	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-6 仮合わせ(中間適合検査) 筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の調整、試し使用及び仕上げ	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
・iii-7 仕上げ(基本工作法相当) 筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の付属品の取り付け及び仕上げ	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			

	事例1	事例2	事例3	事例4
・iii-8 適合検査 器具の適合の最終検査並びに装着及び使用による機能の最終検査	(正味作業時間(分)等をご記入下さい)			
備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)				

5

	事例1	事例2	事例3	事例4
正味作業時間について(つづき)				
(基本工作法範囲外にかかる作業) ※下記のなかで該当する作業がございましたら、それに要した正味作業時間等についてご記入下さい。				
・iii-9 外装及び仕上げ(基本工作法相当外) 外装作業等で、基本工作法範囲外のことをされている場合は、該当作業についてご記入下さい。また、該当作業内容に対する、所要費用の負担について、あてはまるものを1つ下記のなかからお選び下さい。 ※該当作業分の所要費用の負担について ア 利用者自己負担 イ 製作事業者負担 ウ 行政負担 エ その他				
・主な作業内容を4つ挙げて下さい。 作業内容1(外装・仕上げ)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容2(外装・仕上げ)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容3(外装・仕上げ)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容4(外装・仕上げ)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
その他、基本工作法外の外装・仕上げ作業	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
・iii-10 調整機構を持つ完成用部品の調整 調整機構を持つ完成用部品の調整に要した時間(継手の可動域調整や抵抗力調整)	(正味作業時間(分)をご記入下さい)			

	事例1	事例2	事例3	事例4
・iii-11 納品後9ヶ月間の調整、補修 納品後9ヶ月間の調整、補修に要した時間	(正味作業時間(分)をご記入下さい)			
・iii-12 上記以外の作業 その他の作業についてご記入下さい。また、該当作業内容に対する、所要費用の負担について、あてはまるものを1つ下記のなかからお選び下さい。 ※該当作業分の所要費用の負担について ア 利用者自己負担 イ 製作事業者負担 ウ 行政負担 エ その他				
・主な作業内容を4つ挙げて下さい。 作業内容1(その他)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容2(その他)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容3(その他)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
作業内容4(その他)	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
	(費用負担について(記号記入))			
その他、基本工作法外の外装・仕上げ作業	(該当作業に対する正味作業時間(分))			
備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)				

		事例1	事例2	事例3	事例4
(v) 使用完成部品について					
当該補装具に使用した完成部品について、使用部品のメーカー、型番、購入価格についてご記入ください。					
(部品名称欄には、「腫瘍手」等名称をご記入下さい)					
部品1	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品2	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品3	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品4	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品5	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品6	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品7	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				

		事例1	事例2	事例3	事例4
部品8	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品9	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品10	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品11	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品12	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
部品13	部品名称 メーカー名 型番 購入単価 購入個数				
備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)					

7

		事例1	事例2	事例3	事例4
(vi) 完成部品以外の部品・材料の費用について					
完成部品以外の部品外注費、その他の材料費について、ご記入下さい。					
v-1 部品外注費 事業所外への定型作業、オーダーメイド部品の外注についてお書き下さい。					
外注1:メッキ加工	外注内容	(外注内容について、お書き下さい) メッキ加工作業を行う。			
金額		(該当外注に要した費用をお書き下さい)			
外注2:靴部分製作	外注内容	(外注内容について、お書き下さい) 装具の靴部分の製作を行う。			
金額		(該当外注に要した費用をお書き下さい)			
外注3:その他の外注1	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)			
金額		(該当外注に要した費用をお書き下さい)			
外注4:その他の外注2	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)			
金額		(該当外注に要した費用をお書き下さい)			

		事例1	事例2	事例3	事例4
外注5:その他の外注3	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)			
金額		(該当外注に要した費用をお書き下さい)			
外注6:その他の外注4	外注内容	(外注内容について、お書き下さい)			
金額		(該当外注に要した費用をお書き下さい)			
v-2 使用材料費 その他当該補装具を製作する上で、使用した材料(素材など)の材料費合計金額をご記入下さい。 ※最終的にできあがる補装具には残らない、作業中に失われるロス分を含めて当該補装具の製作に要した材料の金額をご記入下さい。					
使用材料合計金額					
(vii) 当該補装具の提供価格					
当該補装具の提供価格をお書き下さい。					
価格					
備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)					

この調査票の設問はここまでです。
長時間にわたりご回答いただき、どうもありがとうございました。